

第6章 計画の推進

1. 計画の推進に向けて

(1)家庭や関係機関との連携

本計画は、すべての子育て家庭、子ども・若者を対象とする計画です。計画の推進に向けては、子育て家庭や子ども・若者の当事者をはじめ、こども園や保育園、学校、地域、住民、社会福祉協議会、民生委員児童委員などのその他関係機関・団体が一体となって取り組みます。

本計画を協働により進めていくためには、本計画で示した考え方、各種取組について広く周知していくことが重要です。そのため、広報紙やホームページ、SNS、窓口において情報提供を行うとともに、子ども・若者の意見を聴く場を設け、計画の進捗状況や町内の多様な施設・サービスのような子ども・子育てに関する情報についても住民への周知・啓発を図ります。

(2)地域の人材の確保と連携

子育てに関する住民の多様なニーズに対応するため、保育士や放課後児童支援員のような教育・保育人材の計画的な確保に努めます。また、ボランティアや子育て経験者、高齢者の方のような子育てを支援する幅広い人材の確保・育成に努めます。

(3)企業、関係団体との連携

社会全体で子ども・子育て家庭を支援するためには、住民や企業、関係団体の理解と協力が必要です。

企業においては、子育て中の保護者のワーク・ライフ・バランスの向上に資する取組や、働きやすい環境づくりが求められます。

また、関係団体と連携した互助活動の活性化や、子育てサークルの活動の充実により、地域が主体となった子育て支援の充実が求められます。

これらの企業・関係団体との連携の向上に向けて、町内企業への広報・啓発や、団体の活動に係る相談、活動場所の提供を推進します。

(4)子ども・若者の主体的な参加

子ども・若者自身が、自分たちのまちを大切にしよう、自分たちの生活を大切にしようなど、主体的に考えていけるよう、「竜王町こどもまんなか会議」をはじめ、子ども・若者の意見を集めたり、活躍できる場の確保・充実に努めます。

2. 計画の点検・検証

(1) 竜王町子ども未来会議における点検・検証

各種施策及び本計画の推進については、実効性を高めるため、竜王町子ども未来会議において計画の進捗について点検・検証する機会を設け、またその内容について公表します。

計画の進捗状況の確認をふまえて、こども・若者の支援がさらに推進されるよう、【Plan(計画)－Do(実施・実行)－Check(検証・評価)－Action(改善)】のPDCAサイクルを活用します。

(2) こども・若者からみた課題・成果の定期的な把握

計画の推進にあたって、適宜、小中学生を対象としたアンケート調査や、小中学生によるワークショップ「竜王町こどもまんなか会議」の実施により、こども・若者からみた課題・成果を把握し、必要に応じて計画の見直しを行います。